

## 第 88 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

### 1. 日時・場所

平成 28 年 3 月 26 日（土）、27 日（日）、28 日（月）

東北大学 川内キャンパス（日本原子力学会 2016 春の年会 展示会場）

### 2. 来訪者： 30 名程度

### 3. 説明概要：

日本原子力学会 2016 春の年会 展示会場において、ITER に関するポスターを展示し、来訪者に ITER に関する資料を配布し、ITER 計画について説明および ITER 機構職員募集を行った。

（ITER 計画管理グループ 齋藤、ITER 統合支援グループ 閨谷）

### 4. 主な Q&A

Q：メーカーからの出向を受け入れる制度はありますか？

A：ITER 機構の職員採用される際に、出向とするか転職になるかは、お勤めの会社の制度によると思われます。

Q：那珂研の大部分が ITER に関わっていますか？

A：那珂核融合研究所では、主に「ITER の研究開発」と「核融合プラズマの研究開発（JT-60SA）」を実施しています。ITER 研究開発では、ITER 計画における日本の国内機関として、ITER 機器の研究開発・調達や人的貢献の窓口として役割を果たしています。また、プラズマの研究開発では、試験装置 JT-60U を用いた研究を実施し、（2012 年に解体完了）、現在は超伝導化した JT-60SA の組立（2019 年運転開始予定）を進めています。

Q：ITER はいつごろできますか？

A：2020 年に最初のプラズマが点火される予定です。（説明会后、2016 年 6 月の ITER 理事会にて、最初のプラズマ点火は、2025 年となることが合意されました。）

Q：国際プロジェクトで大変な処は何ですか？

A：参加している国と地域で（ものづくりや管理の方法などについて）考え方が異なるので、これらの複数の参加極の考え方の調整をとることが必要です。また、大型プロジェクトを推進するために、プロジェクトマネジメントを確実に進めることが大変です。

Q：ELM コイルは作りますか？

A：プラズマ制御に必要なもので、作る計画で進んでいます。

Q：ITER 機構職員にもっと日本人を増やせないのですか？

A：ITER 機構の職員採用はいわゆるキャリア採用になっていますので、最低 3 年の実務経験が要求されています。したがって、例えば、まず民間会社や研究機関等の職員として実績を積んでから、ITER 機構職員となるというルートも考えられます。一方、モナコが出資している参加極からポスドクを募集する制度があります（ポスドク・フェローシップ）。2 年間の ITER 機構で実際に ITER を研究開発している先進の科学者・

エンジニアの下で核融合研究プログラムに参加できます。2年ごとに募集されます。応募するためには募集終了日の2年前以内に博士課程を卒業していることです。職員募集ではありませんが、学生の方々にも門扉は開かれており、ぜひ応募を検討して頂きたいです。

Q：職員への応募に核融合の業務経験は必要ですか？

A：ITER 機構職員には、例えば炉心プラズマ設計のように核融合に関する専門知識が必要な職務は当然ありますが、多くのポストは機械、電気、原子力、情報、建築、土木などの工学分野やプロジェクト管理、安全管理、品質保証などの実務経験を有する方を幅広く求めています。各々の募集ポストに対して、その職務内容を記述した Job Description に、応募者の実務経験や専門性などに関する条件が具体的に記載されています。自分のできることを限定せずに幅広く考えること、自分の可能性をアピールすることが大切です。量研機構ではこういったトレーニングコースも用意しており、ぜひ利用して下さい。

Q：ITER 機構はどのような機関ですか？

A：日本、欧州、米国、露国、中国、韓国、インドが加盟する国際条約（イーター協定）に基づいた、核融合実験炉であるイーターを国際協力で建設・運転するための国際機関です。ITER 機構の職員数は、専門職と支援職員からなり、その総数は2016年4月末現在で670名です。

Q：六ヶ所サイトでは何をしていますか？また ITER とはどのような関係がありますか？

A：六ヶ所サイトでは、核融合エネルギーの早期実現を目指すために、「幅広いアプローチ（BA）活動」が取り組まれています。BA 活動で実施されている計画は、国際核融合材料照射施設の工学実証・工学設計活動（IFMIF）や国際核融合エネルギー研究センター（IFERC）での原型炉設計研究開発調整、ITER 遠隔実験、核融合シミュレーションなどが行われています。IFMIF や ITER での実験結果に基づき、核融合炉が建設される予定となっています。



第 88 回 ITER 機構職員募集説明会の展示ブースの様子